

中期経営計画 (計画期間 平成27年度～平成29年度)

礎

【ISHIZUE】

強い経営体質を確立するための
「新たな成長基盤づくり」への挑戦

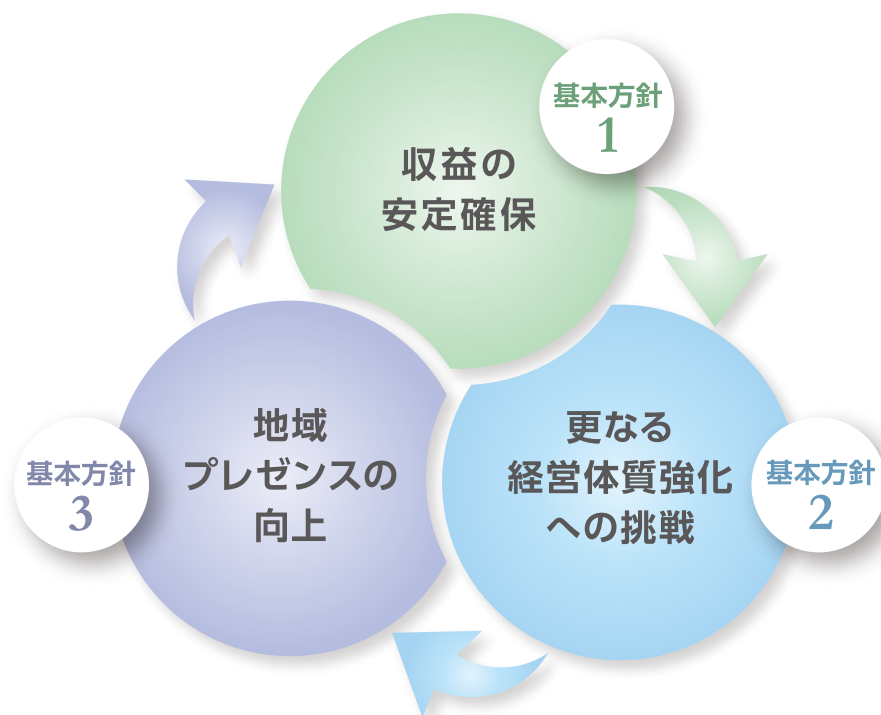
せいしんは平成27年4月より、新たな中期経営計画「礎 (ISHIZUE)」をスタートさせました。同計画では、当金庫の目指す姿を『いかなる環境下にあっても、地域と共に成長し続ける「せいしん」』と位置付け、その実現に向けて下記の3つの基本方針を掲げております。これら基本方針を着実に実行していくことにより、これから当金庫が直面する様々なリスクや環境の変化にも的確に対応できる「新たな成長基盤づくり」に挑戦してまいります。

ビジョン

『いかなる環境下にあっても、地域と共に成長し続ける「せいしん」』

- 地域の中で「信頼される」ために ▶ 相談する金融機関といえば「せいしん」といわれる存在となる。
- 地域で「愛される」ために ▶ 信用金庫といえば「せいしん」といわれる存在となる。
- 地域の中で「存在感を示す」ために ▶ 一番安心できる金融機関といえば「せいしん」といわれる存在となる。

基本方針



■ 具体的方策

基本方針

1

収益の安定確保

地域の成長戦略やお客さまの課題やニーズに適切に応える枠組みを整備し、地域内の様々な課題解決を進めることで金融機関としての「信頼度」を高める

- 地域密着型金融の推進
- 個人顧客のトータルライフサポート
- 資金運用の強化

基本方針

2

更なる経営体質強化への挑戦

組織力や人材力を強化することで効率経営と財務体質の強化に努め、相談し易い金庫としての「好感度」を高める

- 業務効率化と経費削減によるローコスト態勢の構築
- 高いパフォーマンスを発揮できる組織体制づくり
- 金融環境の変化に対応できる人材の育成

基本方針

3

地域プレゼンスの向上

地域に密着したリレーション活動を追求するとともに、経営の健全性確保、内部管理体制の整備を図ることで地域での「存在感」と「安心感」を高める

- 地公体・外部関連機関との連携強化
- 社会貢献活動・CSRの推進
- 経営管理態勢の更なる充実